

東海市地域公共交通網形成計画の推進について

1

基本方針	1 : いろいろな交通機関がなかよくつながる公共交通づくり
目 標	1 : 地域の骨格を形成する公共交通の構築
施 策	1 : 公共交通ネットワークの充実
実施事業	2 : 路線バス・らんらんバスのサービス向上へ向けた再構築

(平成28年度) 地域公共交通調査事業

路線バス及びらんらんバスの今後について、再編も含めた検討を行うため、現状把握及び需要調査を実施し、調査結果を分析した上で、今後の再編について検討する。

●各種調査実施時期等

1 らんらんバスの調査

- (1) らんらんバスのOD調査 (平成28年12月実施済)
- (2) らんらんバス利用者への聞き取り調査 (平成29年1月実施済)
- (3) らんらんバスの定時運行調査 (平成29年1月実施済)

2 路線バスの調査

- (1) 路線バス横須賀線の利用実態調査 (平成28年12月実施済)
- (2) 路線バス上野台線の利用実態調査 (平成28年12月実施済)
- (3) 路線バス横須賀線の需要調査

3 利用者へのアンケート調査

- (1) 高齢者への利用状況・需要調査 (平成28年8月実施済)
- (2) 高校生(横須賀高校・大府高校)への利用状況・需要調査(調整中)

●国庫補助金

平成28年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域公共交通調査事業(計画推進事業))の内定を受けている。東海市から東海市地域公共交通会議への負担金とあわせて、調査事業を実施する。

2

基本方針	1：みんなで使って、みんなで支える公共交通づくり
目 標	2：だれもが利用しやすい公共交通利用環境の構築
施 策	2：既存駅・バス停の利便性向上
実施事業	2：上屋・ベンチ等の設置

(平成28年度) 上屋・ベンチ等の設置に向けた調査

●事業内容

75歳以上の市民を対象としたらんらんバス運賃無料化に伴い、バス停の利用状況に変化が生じているため、OD調査の結果を基に確認する。また、利用頻度が多いバス停に上屋・ベンチ等が設置可能であるか確認する。なお、設置可能なバス停については、優先順位を設定する。

●実施時期

平成28年度第4回東海市地域公共交通会議・協議事項

●実施方法

らんらんバスのOD調査結果を基に利用頻度を確認する。

(特に乗車での利用頻度を重視する。)

利用頻度が高いバス停については、道路が設置基準を満たしているのか確認する。

優先順位は、利用頻度、公共施設や商業施設の有無、乗継拠点等を確認した上で、公共交通会議で協議を行う。

基本方針	2	：みんなで使って、みんなで支える公共交通づくり
目 標	6	：地域で支える公共交通
施 策	1 2	：地域での公共交通施設管理の推進
実施事業	2	：バスやバス停等への広告制度の導入

(平成28年度) らんらんバス車内への企業広告

●事業内容

3ルート6系統で運行しているらんらんバスの車内の広告掲載欄を利用した企業広告の掲載を行なう。

●実施時期

平成29年中実施予定

●実施方法

広告料を受領し、運行負担金を軽減する。

●その他

東海市広告掲載審査会にて車内の掲載の可否については了承済

※広告掲載審査会は、広告制度にふさわしいかを審査する。

事前準備として、広告条例の制定や説明会の実施を検討する。

基本方針	3	: 公共交通を使った活発な交流を促進する仕組みづくり
目 標	7	: 公共交通を使った高齢者の外出促進
施 策	13	: 公共交通を利用したくなる取り組み
実施事業	3	: 75才以上の高齢者のらんらんバスの運賃無料化の実施

(平成28年度) 高齢者の外出促進につながるらんらんバス運賃無料化の実施

●事業内容

75才以上の市民を対象としたらんらんバスの運賃を無料とするものである。

●実施時期

平成28年8月27日より実施

●実施方法

無料化の実施方法については、交通防犯課及び高齢者支援課にて検討を行っており、広報やバス車内への掲示による周知を予定している。

●その他

75才以上の市民を対象としたらんらんバスの運賃無料化は特別乗車証での実施を予定している。